

ふれあい

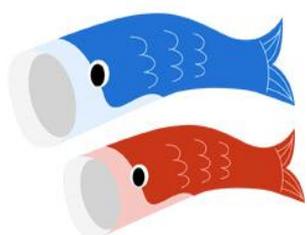
たかはなだいらしょうがっこう がつこう
高花平 小学校 学校だより
No. 28 (H27年度最終号)
平成 27(2015)年 3月-4
☎高花平小 320-2074, 321-3040

ねんかん

1年間、ありがとうございました

～「明日も行きたい学校（子ども）」、「敷居の低い学校（保護者・地域の方）」、「やりがい・喜びのある学校（職員）」をめざし、1年間、みんなであれこれやってきました。大きな事故や事件もなく、無事に1年を終えられるのは、保護者・地域のみなさんの支え、ご理解・ご協力があったからこそです。本当にありがとうございました。心からお礼申し上げます。

4月からも、また、どうぞよろしく願いいたします。



つか 使わないこいのぼり、 ありませんか？

～昔の学校だよりをよんでいたら、
大小の「こいのぼり」が、高花平

小の運動場を泳いでいた！ときがあったようです。

“ああ、いいなあ…”と思いました。

もし、お家に“眠っているこいのぼり”があったら、ぜひ学校へ寄付していただだけませんか。もう一度、春の空を泳がせてやりたいと思います。

TIさんはどこに？

～文化祭に、「くつ」の忘れ物がありました、ずっと待っていたのですが…
*かかとのところに、**TI**と書いてあります。(イニシャル?)



心のキャッチボール ～ みなさんからの声・22 ～

〈冬の学校公開週間感想、最後の学校運営協議会(コミュニティースクール)での意見〉

○6年生を送る会の準備を見せてもらいました。最後まで一生懸命作る子、後片付けやそうじをがんばる子等の協力する姿や、ゆっくりな友だちをフォローする姿も見られました。ありがとうございました。

○あいさつ運動が始まって5年になるが、だんだん大きな声であいさつできる児童が増えてきた。下校のときには、「おかえり」「ただいま」の声も自然と出るようになった。ただ、登校のときに、『まとまって2列に歩くことができてない班』がいくつかある。高学年は、「年下を思いやる心」を、低学年には「感謝する心」を持っていてもらいたい。

○学力論にもつながるが、子どもが点数のみで評価されるような教育であってはならない。どの子にも良さはあり、その子なりの良さが評価されるような教育を大事にしていかなければならない。

来年度に向け、あれこれ見直しています

～今年1年を振り返り、保護者・地域のみなさん・子ども・教職員自身の声をもとに、**今よりもさらに『明日も行きたい高花平小』**になるよう、改善策・プランを考えています。



■ 新しい学校づくりビジョン (マニフェスト、作戦のようなもの)

～高花平小の課題(学力・体力向上、自分で考え行動する力の育成)

にポイントをおいた具体策・活動など、“次の一手”を考えています。

■ 新しい時間割

○H27年度：**朝の読書**・**昼の学力づくり(スタディタイム)**と分け、**10分**づつ時間を取ります。

○**5分休憩の見直し** など

★**下校時刻**→ **ふだんの日** 5限後⇒14:50 ごろ、6限後⇒15:40 ごろ。**水曜日** 14:10 ごろ。

(※あくまでも、めやすの時刻です。学校・学級のつごうで、前後することはあります)

■ 新しい教室

○**南校舎**⇒ 3・4年生、 ○**北校舎**⇒ ともだち、1・2・5・6年生

*最終的には、3月末の準備委員会・4月の職員会で決めます。さまざまなことは、決まり次第、学校だより・HPなどでお知らせします。

おそぼけの花
～卒業記念文集より～
校長 小井誠一

実は、私は、中学校を卒業したら、働こうと思っていました。勉強もそんなにできなかったし、家も豊かでなかったからです。中三の進路相談のとき、担任の先生に、「高校へは行かずに、働きたい」と伝えました。ところが、先生からは、

「小井くんは、今はパツとしないけど、『おそぼけ(大器晩成の意味か?)』のタイプみたいやし、高校へ行ってから決めても遅くないのでは…」

という言葉がかえってきました。

結局、高校へ行くことになり、あれこれ迷った末、教師の道を選びました。(勉強は好きじゃなかったけど、読書は好きだったので、

図書館で働けたらいいなと思ったのです、本当は…。が、なかなか就職できないということだったので、学校の先生なら本が読めるかな…と、簡単に思ったのです。)

それから、がんばって勉強しましたが、おそぼけはパツとしません。教員採用試験も、ギリギリセーフの補欠合格!

あれから四十年。今、『この道を選んでよかった』と、心から思っています。みなさんの前には、いろんな道があります、可能性が

あります。人生、テストの点や成績だけがすべてではありません。きっとあなたの花も、いつか咲く時がきます。長い人生、あわてず、さわがずに。そして、少しは誰かのために生きられるといいですね。